

## 2019 年度 事業計画

仙台空港鉄道は、会社発足時からお客さまに安心してご利用いただくことを目標に掲げ、安全・安定輸送の向上に取り組んできました。2017 年度からは開業時の目標であった 1 日あたりのご利用者が 10,000 人を越え、順調にお客さまのご利用が増えてきています。引き続き「安全」が経営の最重要課題であるという、会社発足の原点を忘れず、お客さま及び地域の皆さまにも信頼され、安心してご利用いただける鉄道を目指し、事業を推進します。

### 1 安全・安定輸送の確保

輸送業務の最大の使命である「安全」を確保し、開業以来の 12 年間の無事故を今後も継続すべく、社員一人ひとりの安全に対する知識・技能の向上と安全管理体制の更なる強化に取り組むとともに、車両・設備等の保守管理を適切に実施します。

- (1) 実車を使用した異常時訓練並びに定期的な教育・訓練による知識・技能の向上による安全性向上の推進
- (2) 安全点検、安全に関する業務監査等の実施による安全管理体制の強化とプロパー社員中心の安全管理体制への移行の推進
- (3) 駅ホームにおける安全性向上に向けた取組みの強化
- (4) 車両及び各種設備等の点検・修繕の確実な実施
- (5) 輸送障害時における J R 東日本との連携の強化

### 2 お客さまサービスとご利用者数の向上

お客さまのご利用状況やお客さまの視点に立った輸送改善を進め、より質の高いサービスを提供するとともに、多客期など、お客さまの需要動向に対応した輸送力の増強を図り、お客さまの利便性の向上とご利用者数の向上に努めます。

- (1) 駅配置社員の増員によるお客さまへのサービスの向上
- (2) 海外のお客さまへの対応も含め、仙台空港駅において電子機器を活用をした的確な情報提供の実施
- (3) I C カード利用者の増加に対応した仙台空港駅内にチャージ専用機の設置
- (4) お客さまのご利用状況に合わせた輸送力の確保
- (5) 沿線自治体や企業等の行事と連携した輸送力の確保

### 3 鉄道輸送以外の収入確保に向けた施策の展開

魅力ある新たな鉄道グッズの商品化等により、収入の確保に努めます。

- (1) 「鉄道むすめ」等新たな商品開発によるグッズ販売の拡充
- (2) 鉄道フェスティバル等による鉄道グッズ販売活動の実施
- (3) 駅構内や車体等における広告収入確保に向けた営業活動の展開
- (4) 鉄道を利用するイベントや企画等と連携した取組みの推進

### 4 業務遂行体制の改善

より効率的な業務遂行体制を推進するとともに、業務内容の精査、見直し等により経費の節減に努めます。

- (1) 社員の担当業務兼掌化の推進
- (2) 管理的業務のプロパー社員化の推進
- (3) 工事工法の見直しによる工事契約業務等の最適化
- (4) 部外へ委託している業務の直轄化の推進
- (5) 省エネルギーに向けた取組みの推進

### 5 人材の育成

社員一人ひとりの技術・技能の向上を図るための、より実践的な教育・訓練を実施するとともに、自らの役割を自覚するための取組みを進めます。

- (1) プロパー社員への管理的業務の教育・養成の推進
- (2) 社員の多能化に向けた教育・養成の推進
- (3) 鉄道固有の技術・技能を修得するための社外研修への参加
- (4) 各種委員会活動及び勉強会による社員のレベルアップ
- (5) 鉄道に関する社外通信研修等の懲遷

### 6 地域社会との連携

各種イベント、行事等を通して地域との連携を推進し、地域のみなさまに愛され、親しまれる鉄道を目指します。

- (1) 仙台空港や大型商業施設等の沿線施設との連携の推進とイベント等への参加及び協力
- (2) 駅構内公設掲示板等による地域情報の発信
- (3) ダイヤ改正時刻表の沿線各世帯や事業所への配布
- (4) 「東北・みやぎ復興マラソン2019」への協力